

I 第47週の発生動向 (2014/11/17~11/23)

1. インフルエンザについては、患者報告数は2人で、迅速診断キットによる型別はA型でした。
2. 咽頭結膜熱については、弘前保健所管内で第45週から**警報**が継続しています。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の157人から189人に増加しました。
4. 水痘については、むつ保健所管内で第45週から**警報**が継続しています。
5. 伝染性紅斑については、八戸保健所管内で**警報**が発令されました。

II 第47週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 内科 (90) インフルエンザ											2	0.3	2	0.0	1				
(79) RSウイルス感染症	11	1.4	14	1.6	3	0.3			9	1.5	5	1.3	42	1.0	16			11	1.4
(80) 咽頭結膜熱	5	0.6	26	2.9	6	0.6	3	0.6					40	1.0	6			5	0.6
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.6	7	0.8	16	1.6			6	1.0	1	0.3	35	0.8	6			5	0.6
(82) 感染性胃腸炎	85	10.6	25	2.8	52	5.2	7	1.4	19	3.2	1	0.3	189	4.5	32			85	10.6
(83) 水痘	3	0.4	10	1.1	2	0.2	1	0.2	8	1.3	22	5.5	46	1.1	-6			3	0.4
(84) 手足口病	3	0.4	2	0.2					1	0.2			6	0.1	2			3	0.4
(85) 伝染性紅斑	1	0.1			22	2.2			3	0.5			26	0.6	7			1	0.1
(86) 突発性発しん	4	0.5	2	0.2	10	1.0	2	0.4	4	0.7			22	0.5	1			4	0.5
(87) 百日咳															0				
(88) ヘルパンギーナ			1	0.1									1	0.0	0				
(89) 流行性耳下腺炎					1	0.1							1	0.0	0				
眼科 (91) 急性出血性結膜炎															0				
(92) 流行性角結膜炎	1	0.5			2	1.0	2	2.0					5	0.5	4			1	0.5
(97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎															0				
(100) マイコプラズマ肺炎											5	5.0	5	0.8	-1				
(101) 無菌性髄膜炎															0				
(82) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)							1	1.0					1	0.2	1				

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市1人、弘前2人、八戸1人、五所川原1人 (2014年計:341人)
- ・A型肝炎(四類全数把握疾患): 八戸1人 (2014年計:4人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

侵襲性インフルエンザ菌・肺炎球菌感染症 (五類全数把握疾患)

侵襲性インフルエンザ菌感染症は、*Haemophilus influenzae*による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液から検出された感染症です。侵襲性肺炎球菌感染症は、*Streptococcus pneumoniae*による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液から検出された感染症です。

平成25年4月の感染症法改正において五類全数把握疾患に追加されました。本県における今年の累積報告数は、侵襲性インフルエンザ菌感染症は1人、侵襲性肺炎球菌感染症は6人となっています(第46週現在)(表1、表2参照)。

予防にはワクチン接種が有効です。平成25年4月より、Hib(ヘモフィルスインフルエンザ菌b型)および小児用肺炎球菌のワクチン接種は、定期接種となりました。Hibワクチン接種により、Hibが血液や髄液から検出されるような重篤なHib感染症にかかるリスクを95%以上減らすことができると報告されています。また、平成26年10月より、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。

表1 侵襲性インフルエンザ菌感染症の累積報告数(東北)

	2013年 (第1~52週累計)	2014年 (第46週 現在累計)
青森県	2	1
岩手県	1	0
宮城県	2	4
秋田県	0	1
山形県	1	3
福島県	1	2

表2 侵襲性肺炎球菌感染症の累積報告数(東北)

	2013年 (第1~52週累計)	2014年 (第46週 現在累計)
青森県	1	6
岩手県	4	9
宮城県	22	41
秋田県	2	1
山形県	7	20
福島県	8	16

侵襲性インフルエンザ菌感染症

発症は一般に突発的であり、上気道炎や中耳炎を伴って発症することがあります。髄膜炎例では、頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害、乳児では大泉門膨隆等の症状を示します。敗血症例では、発熱、悪寒、虚脱、発疹等の症状を示しますが、その症状は特異的でないことも多く、急速に重症化することがあります。

侵襲性肺炎球菌感染症

小児及び高齢者を中心とした発症が多く、小児と成人でその臨床的特徴が異なります。小児は、成人と異なり肺炎を伴わず、発熱のみを初期症状とした感染例のはっきりしない菌血症例が多くみられます。

また、髄膜炎は、直接発症する場合の他、肺炎球菌性の中耳炎に続いて発症することがあります。成人は、発熱、咳嗽、喀痰、息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多くみられます。髄膜炎例では、頭痛、発熱、痙攣、意識障害、髄膜刺激症状等の症状を示します。

【参考】厚生労働省「医師及び指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準」

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2014年第31週～第47週)

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
31	H26.7.28 ~ H26.8.3	後天性免疫不全症候群1人 梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症2人	
32	H26.8.4 ~ H26.8.10	A型肝炎1人 レジオネラ症1人					
33	H26.8.11 ~ H26.8.17	腸管出血性大腸菌感染症4人					
34	H26.8.18 ~ H26.8.24			腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人	
35	H26.8.25 ~ H26.8.31						
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	デング熱1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14					腸管出血性大腸菌感染症1人	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21						
39	H26.9.22 ~ H26.9.28					腸管出血性大腸菌感染症1人	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5		レプトスピラ症1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
41	H26.10.6 ~ H26.10.12			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人			
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			つつが虫病1人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人 ジアルジア症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26		急性脳炎1人				
44	H26.10.27 ~ H26.11.2					クリプトスポリジウム症10人	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9		急性脳炎1人				腸管出血性大腸菌感染症1人
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	つつが虫病1人					
47	H26.11.17 ~ H26.11.23			A型肝炎1人			

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第37週～第47週)

単位: 人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
37	H26.9.8 ~ H26.9.14	3	3	7	1	1	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21		1	4	1	1	
39	H26.9.22 ~ H26.9.28		1	3	1	2	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5	1	2	3			1
41	H26.10.6 ~ H26.10.12	2	6	4	1	1	
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			3	1	2	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26	2	2		2	3	
44	H26.10.27 ~ H26.11.2	1	1	1	1	1	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9	3	1	2			1
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	1	2	1			
47	H26.11.17 ~ H26.11.23	1	2	1	1		

VII 全数把握疾患発生状況 (全国-青森県)

(注: 発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第45週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	O熱	コウジノイテス症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポリオスズ	マリア	野兔病	ライム病
累積報告数	22328	4	127	3846	51	15	122	418	15	8	1	1	1	57	12	148	322	217	2	10	1	55	1	14
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	A型肝炎	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	創症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ感染症	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	パルボウイルス性髄膜炎	風しん	麻しん	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	水痘(入院例)	種痘性クリプトコックス症	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	1054	44	959	202	389	97	148	227	1292	56	170	29	1443	9	1405	117	43	306	456	140	68	11	9	

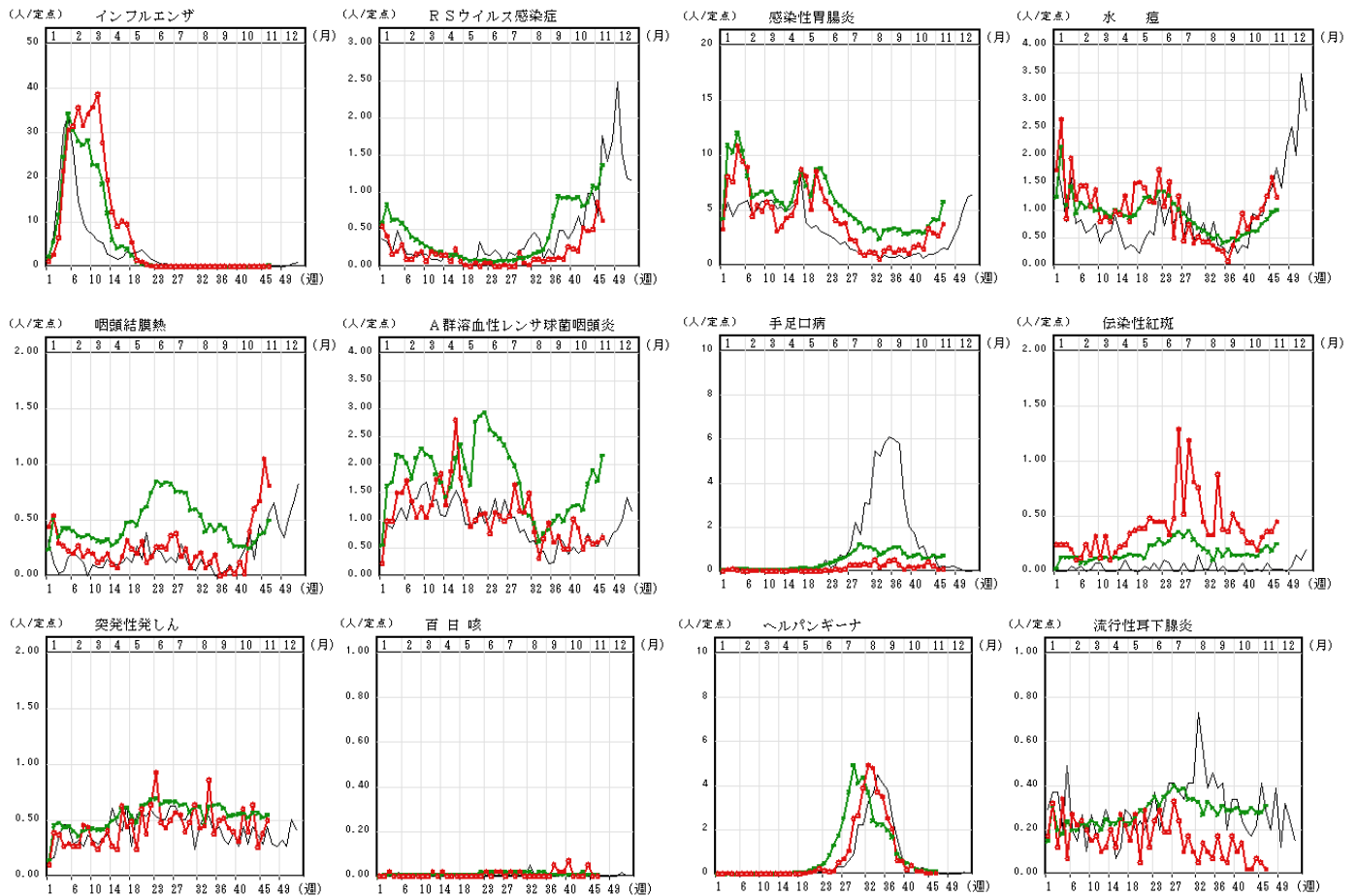
青森県

(2014年第1週～11月25日16:00累計)

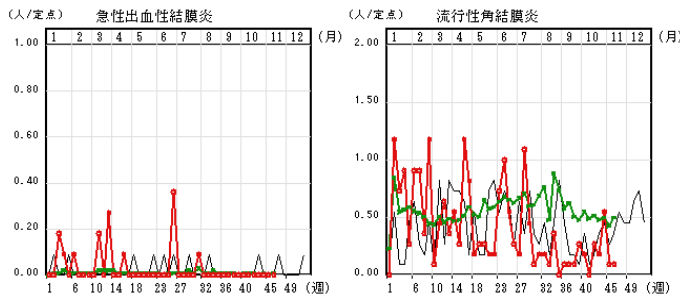
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	レプトスピラ症	A型肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	創症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	カルバペネム耐性腸内細菌感染症			
累積報告数	341	20	2	4	12	1	3	1	6	10	10	1	1	4	1	1	6	4	1	2			

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第46週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、 ×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第46週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第46週)

